

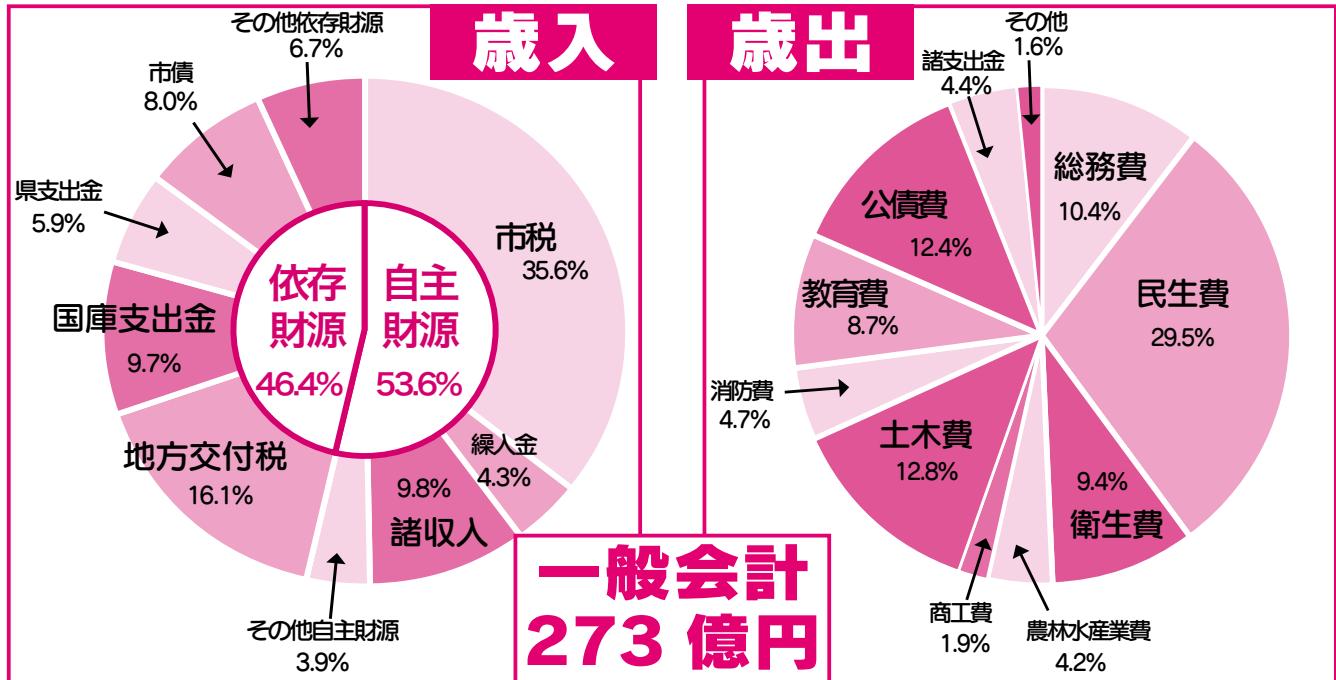
# まちづくりをすすめます 的に取り組めます



- まちづくり市民会議
- 対話の日



- 収入役の廃止
- 行政組織の合理化・効率化



このように様々な手法を取り入れることで、市が抱える様々な課題につきましても、市民の知恵を借りながら解決に努め、まちづくりの主役である市民の皆さんの知恵とエネルギーを最大限に活かして、市民と行政、議会が協働してまちづくりを進めていきたいと思っております。どうか幅広い各界各層の皆さんのまちづくりへの参加、アイデアの提供をお願いいたします。

行政運営についてですが、今年度より、新市のまちづくりの基本理念、方向性を示す第1次山陽小野田市総合計画の策定に取り組んでいくこととなりますが、合併時の「新市建設計画」を踏まえつつ、市民の皆さんの意見を十分に聞きながら、平成19年度中の策定を目的に計画策定に取り組んでいきます。

行政組織の見直しにつきましては、地方自治法の改正を機に、収入役を廃止するほか、機構全般の見直しと、それに伴う職員の適正配置など行政組織の合理化・効率化を図ります。公共施設につきましては、施設の統廃合を含めた効率的な配置の検討に取り組むとともに、その管理につきましては、新たに平成18年度から指定管理者制度が導入されることに伴い、施設管理のあり方について検証し、条例の制定およびこれに伴う民間公募の可否の検討を進めていきます。

平成17年度の予算編成につきましては、厳しい財政状況を踏まえ、経常的経費は実績を勘案した必要最小限の経費を計上し、投資的経費は、継続事業を中心に投資的効果を踏まえ厳選した事業費を計上いたしております。なお、財源不足に対応するため、基金の取り崩しを余儀なくされておりますが、その残高も少なくなるなど非常に厳しい状況にあります。こうした中、財政運営につきましては、自主財源の確保、事業評価による財源の重点的かつ効率的な配分に努めていきます。

最後に、私の選挙公約でありました市長の報酬額について、特別職報酬等審議会を設置し、見直しに着手して参ります。また、来年度の予算編成に向けては、厳しい財政状況に対応するため、定員適正化の推進、内部事務経費の徹底的な見直し、費用対効果の視点に基づいたコスト意識の徹底など、総力を挙げて行財政改革に積極的に取り組んで参ります。その中では、今後市民の皆さんにもいろいろと負担をお願いすることになるかと思っておりますが、何卒御理解のうえ御協力をよろしくお願いいたします。